

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
市街化中心地区

平成28年10月

埼玉県飯能市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	市内中心部へのアクセス時間	分	23.3	21.0	-	確定 見込み	-	あり なし	-	H 年 月	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	評価値の計測に係わる道路整備が完了しなかったため、評価値の計測ができず、代替指標により検証を行った。		
指標2	年齢が満5歳未満の住民の数	人	1,986	2,091	1,790	確定 見込み	●	×	あり なし	●	1,782	H28年5月	×	市全体の人口が減少傾向の中では、目標値の設定が高すぎた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住環境の一層の整備に注力するとともに、子育て関連事業についても、より魅力的な事業を展開していくことが求められる。
指標3	歴史的建造物への入館者数	人	47	53	61	確定 見込み	●	○	あり なし		56	H28年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	今後も更なる入館者数の増加を目指しつつ、中心市街地の賑わいづくりとの運動も求められる。
指標4						確定 見込み			あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	幹線道路の混雑の緩和	%	54	/	64	確定 見込み	●	/	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	引き続き、土地区画整理事業や道路整備を積極的に進め、更なる混雑緩和を目指していく。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み		/	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み		/	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために 行う方策 	市内観光に係わるソフト事業の取り組みの継続	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなハイキングコースの創造(散策ルートの設定) ・エコツアーガイドの養成 ・エコツアーメニュー(件数)の増設 	<ul style="list-style-type: none"> ・入込観光客数の増(平成23年度約190万人⇒平成27年度約250万人) ・エコツアーガイドは24団体、101人の方を養成し、活躍してもらっている。 ・エコツアーメニューの件数は平成23年度から平成27年度の間約140ツアーの増設があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口480万人を目指し、「体験型・着地型観光」を推進 ・観光協会との連携体制をより一層強化し、市の観光PRについても情報発信力を高めていく必要がある。
	区画整理事業の継続的実施による良好な市街地の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生区画整理事業整備計画書を作成し、財源の確保に努めた。 ・財源確保のため保留地(宅地)販売PRを積極的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生区画整理事業により財源の一部を確保することができた。 ・保留地(宅地)約341㎡を処分することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して整備を進めるための財源確保 ・都市計画道路阿須小久保線及び双柳岩沢線の早期開通 ・区画整理事業の早期完成
改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	市内の幹線道路の整備と子育て世代の良好な住宅地の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路阿須小久保線及び双柳岩沢線周辺において、建物移転、造成及び道路築造工事を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路阿須小久保線及び双柳岩沢線道路整備に着手できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路阿須小久保線及び双柳岩沢線の早期開通 ・区画整理事業の早期完成
	市内への来訪者に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・FMラジオ番組を活用し、本市の取組やイベント情報など本市の魅力を発信する事業を平成25年度から開始した。 ・観光案内所の増設した(平成26年度から飯能駅改札口脇に飯能駅観光案内所を開設した)。 ・天覧山、多峯山周辺観光サインづくり事業の実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2か所の観光案内所の来所者数は平成26年度において57,324人と5万人を超えた。 ・平成23年度に木製道標8基、平成24年度に木製道標23基、案内板3基を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客に向けた新たな地域特産品の創出に取り組む。 ・郷土館に本市の自然の魅力を発信するビジターセンター機能を持たせ、観光の拠点として位置付けていく。 ・外国人観光客に対応した多言語案内板、指導標等の更なる増設が必要となる。
	保育事業や図書館事業の一層の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から子育て総合センターを開設し、子育て講演会、子育て教室、研修会等を実施 ・新図書館の開館に合わせ、ICタグを活用した本貸出システムの構築 ・平成26年10月から新たに飯能市と東京都青梅市において図書館の相互利用を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講演会や研修会を通じて、子育て支援の充実が図れた。 ・ICタグ搭載により、利用者の利便性向上につながった。 ・相互利用状況は利用者数1,614人で貸出数5,334点(平成27年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点の機能強化 ・ICタグ搭載に係る経費負担増 ・近隣自治体との相互利用ができることについての更なる周知の徹底が必要

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
今後オープン予定の「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設(メツァ)」を新たな観光の核としたまちづくりの推進	宮沢湖のメツァ、飯能河原・天覧山周辺エリア、あけぼの子どもの森公園をつなぐ「都市回廊空間」を新たに創設し、その波及効果を中心市街地での賑わいに結び付けていく。	平成29年度～	渋滞緩和に対応する道路網整備における優先順位付け

都市再生整備計画(清算報告)

しがいかちゅうしん
市街化中心地区

さいたま はんのうし
埼玉県 飯能市

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 都市基盤の整備により、アクセス性の向上を図るとともに、良好な市街地環境を創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路、公園の都市基盤整備により、アクセス性の高い良好な市街地環境を創出する。 ・土地区画整理事業の推進により、良好な住宅地を整備する。 	<p>基幹事業(道路 双柳北部地区計画道路) 基幹事業(道路 (仮)飯能大河原線整備) 基幹事業(道路 都市計画道路双柳岩沢線(岩沢北部地内)) 基幹事業(道路 岩沢北部地内区画道路) 基幹事業(土地区画整理事業 笠縫地区) 基幹事業(土地区画整理事業 岩沢北部地区)</p>
<p>整備方針2 地域の特性や資源を活かし、文化や産業の振興を図り、市民の活力により明るく元気なまちづくりを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館の整備により文化的なまちづくりをすすめる。 ・保育施設や公園の整備により、子育てに関連する市街地機能の強化を図る。 	<p>基幹事業(道路 山手町用地地内市道整備) 基幹事業(公園 笠縫1号公園) 提案事業(新図書館建設事業) 提案事業(総合保育施設整備事業)</p>
<p>整備方針3 市街地としての機能強化を図り、中心市街地の再生を図るとともに、住みやすいまちを創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地については、施設整備により、市街地としての魅力を創出する。 ・観光サインづくり事業等により、外国人観光客への対応を図る。 	<p>基幹事業(地域生活基盤施設 ポケットパーク) 基幹事業(地域生活基盤施設 観光サインづくり事業) 基幹事業(高質空間形成施設 トイレ設置) 提案事業(観光関連施設整備事業)</p>
<p>その他</p> <p>○飯能市東部地区において、笠縫3号公園を整備する際ワークショップ等を開催した(平成21年度実施)。今後も住民参加の基で公共施設整備を進めていく。</p> <p>○中心市街地においては、「中心市街地活性化基本計画(案)」に基づき、市民や事業者、行政などが連携を深め、目指すべき方向を共有しながら取り組み、様々な市民が活躍できる舞台として活動を展開し、商業振興はもとより、文化や観光、健康づくりや支え合いによる地域福祉の仕組みづくり、コミュニティの高揚などの活性化を図る。</p>	

